

西部ガスの太陽光発電事業について

1. 西部ガスの太陽光発電事業への参入について

西部ガスは、平成24年4月2日付で、再生可能エネルギー事業を担う「エネ・シード株式会社」を設立し（西部ガス100%出資）、平成24年度から太陽光発電事業に参入しました。

弊社は、ライフラインを担うエネルギー事業者として、これまでどおり天然ガスの普及拡大を行うとともに、太陽光発電の普及にも努め、「エネルギーセキュリティ向上（分散化・多様化）」と「環境負荷低減」に貢献していきます。

なお、将来的には、その他の再生可能エネルギーについても検討を進めていく考えです。

＜エネ・シード株式会社の概要＞

名 称	エネ・シード株式会社
所 在 地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設 立 年 月 日	平成24年4月2日
資 本 金	4億8千万円（西部ガス株式会社100%出資）
代 表 者	代表取締役社長 山本 敏雄
事 業 内 容	再生可能エネルギー等による発電、電気の供給・販売 など

2. 西部ガスグループの太陽光発電事業の概要

福岡県大牟田市、北九州市、長崎県長崎市において、6カ所で太陽光発電事業を行っており、発電した電力は新電力・九州電力に売電します。

また、弊社グループの太陽光発電事業については、事業ごとに最適なスキームを検討し、他事業者との共同事業形式（共同出資して事業会社を設立）、もしくは弊社グループの単独事業形式での取り組みを行っています。現在、共同事業形式の事業会社として「エネ・シードNOK株式会社」「エネ・シードひびき株式会社」の2社を、また単独事業形式の事業会社として「エネ・シードネクスト株式会社」の1社を設立しています。

（1）エネ・シードNOK株による太陽光発電事業

「エネ・シードNOK株」は、エネ・シード株と千代田化工建設株が共同出資して設立した事業会社です。

同社は、九州ガス圧送株 大牟田工場（福岡県大牟田市）^{（注）}、西部ガス長崎工場（長崎県長崎市）、西部ガス北九州工場（北九州市若松区）の未利用地部分に、太陽光発電所を建設して運用しています。また、北九州市門司区（吉志新町）において、平成26年3月に運用を開始しました。

（注）西部ガスの連結子会社：九州ガス圧送株の都市ガス工場（LNGサテライト基地）

＜エネ・シードNOK株式会社の概要＞

名 称	エネ・シードNOK株式会社
所 在 地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設 立 年 月 日	平成24年7月10日
資本金(出資割合)	4千万円（エネ・シード株）51%、千代田化工建設株）49%
代 表 者	代表取締役社長 早川 嘉之
事 業 内 容	太陽光発電事業

《エネ・シード北九州太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード北九州太陽光発電所
建設地	北九州市若松区響町1-26（西部ガス北九州工場の敷地内）
敷地面積	約2万2千m ²
運用開始	平成24年12月
発電規模	1.8MW
年間発電量	188万kWh/年（一般家庭約520戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	ソーラーフロンティア(株)製 約12,000枚
投資額	約5億円

《エネ・シード長崎太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード長崎太陽光発電所
建設地	長崎県長崎市小江町2734-6（西部ガス長崎工場の敷地内）
敷地面積	約2万4千m ²
運用開始	平成24年10月
発電規模	1.5MW
年間発電量	176万kWh/年（一般家庭約480戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	ソーラーフロンティア(株)製 約9,700枚
投資額	約4億4千万円

※平成24年10月の完成・運用開始（0.6MW）後、増設（0.9MW）工事を実施。
増設工事は平成25年9月に完成・運用開始。上記概要は増設後の内容を記載。

《エネ・シード大牟田太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード大牟田太陽光発電所
建設地	福岡県大牟田市新港町1-269（九州ガス圧送(株)大牟田工場の敷地内）
敷地面積	約1万5千m ²
運用開始	平成24年9月
発電規模	1.3MW
年間発電量	127万kWh/年（一般家庭約350戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	シャープ(株)製 約5,400枚
投資額	約3億5千万円

《エネ・シード吉志太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード吉志太陽光発電所
建設地	北九州市門司区吉志新町4-1
敷地面積	約2万8千m ²
建設期間	平成25年8月～平成26年3月
発電規模	2.3MW
年間発電量	242万kWh/年（一般家庭約670戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	長州産業(株)製 約8,800枚
投資額	約5億6千万円

(2) エネ・シードひびき株による太陽光発電事業

「エネ・シードひびき株」は、エネ・シード株と旭硝子株が共同出資して設立した事業会社です。

同社は、北九州市響灘地区にある旭硝子株の所有地（北九州市若松区向洋町）において、平成25年4月から、20.5MWの大規模太陽光発電所「エネ・シードひびき太陽光発電所」の建設を進めて来ました。同太陽光発電所は、平成26年3月に一部の運用を開始し、今般全面運用を開始しました。

なお、同太陽光発電所の発電規模（20.5MW）は、現時点では、当社グループでは最大、また北九州市内でも最大となります。

<エネ・シードひびき株式会社の概要>

名 称	エネ・シードひびき株式会社
所在地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設立年月日	平成24年12月20日
資本金 (出資割合)	9億3千5百万円 (エネ・シード株)51%、旭硝子株)49%)
代表者	代表取締役社長 西田 和則
事業内容	太陽光発電事業

《エネ・シードひびき太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シードひびき太陽光発電所
建設地	北九州市若松区向洋町18-1 (旭硝子株所有地)
敷地面積	約25万6千m ²
建設期間	平成25年4月～平成26年9月
運用開始	平成26年10月全面運用開始 ※工事の進捗にあわせて、同26年3月から一部運用開始(5.2MW)
発電規模	20.5MW
年間発電量	2,100万kWh/年(一般家庭約5,800戸の年間電力使用量に相当)
太陽光パネル	三菱電機株)製 約81,000枚
投資額	約60億円

(3) エネ・シードネクスト株による太陽光発電事業

「エネ・シードネクスト株」は、弊社グループの単独事業に取り組むために、エネ・シード株が100%出資して設立した事業会社です。同社は、有望な適地情報に基づいた土地の賃貸交渉や、太陽光発電所の建設・運営などを一括して行っていきます。

現在、北九州市若松区響南町に「エネ・シード響南太陽光発電所(1.7MW)」を建設し運用しています。

<エネ・シードネクスト株の概要>

名 称	エネ・シードネクスト株式会社
所在地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設立年月日	平成25年1月22日
資本金	4千万円(エネ・シード株)100%出資)
代表者	代表取締役社長 西田 和則
事業内容	太陽光発電事業

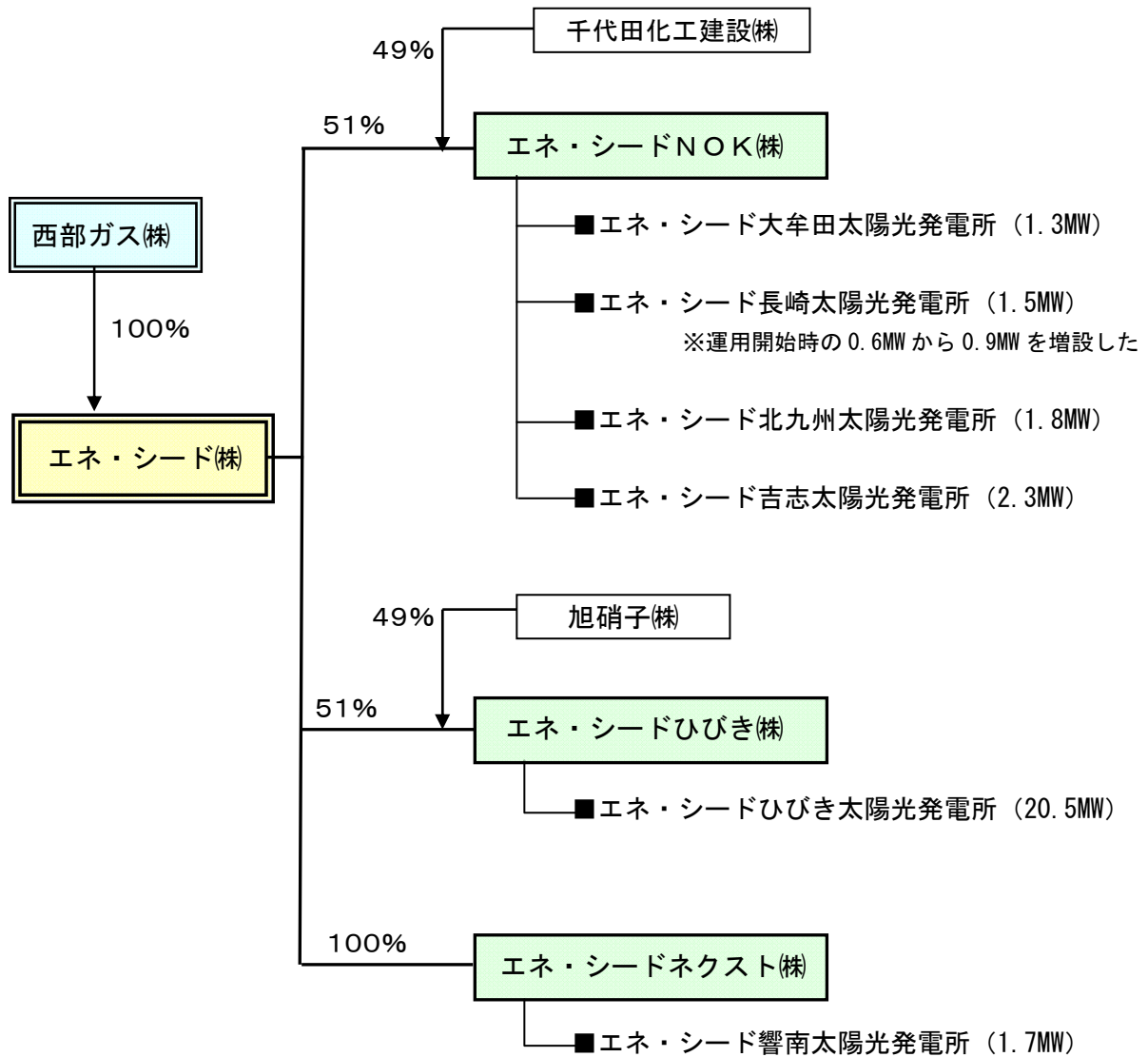
《エネ・シード^{きょうなん}響南太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード響南太陽光発電所
建設地	北九州市若松区響南町6番1号
敷地面積	約2万2千m ²
運用開始	平成25年7月
発電規模	1.7MW
年間発電量	164万kWh/年（一般家庭約460戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	シャープ(株)製 約6,900枚
投資額	約4億5千万円

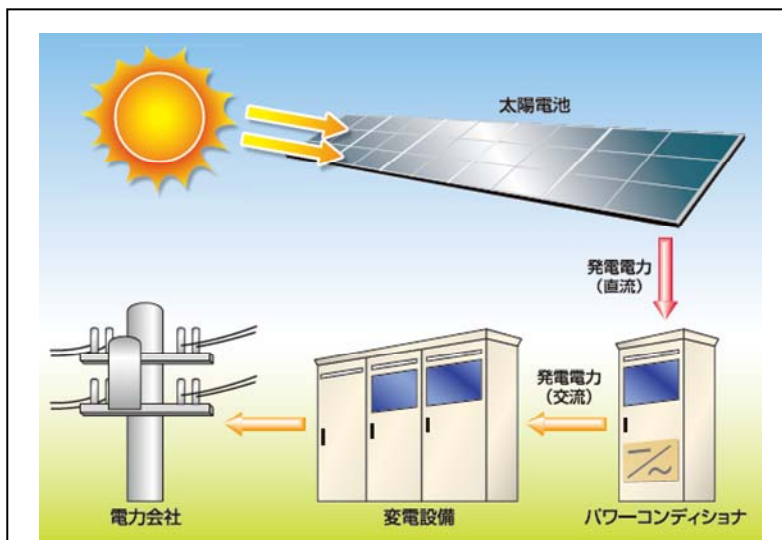
以上

《参考資料：別紙》

【ご参考1：西部ガスの太陽光発電事業のスキーム図】（平成26年10月14日現在）



【ご参考2：太陽光発電のしくみ】



以上